

次期秦野市緑の基本計画 について

作業期間：令和元（2019）年8月－令和3（2021）年3月

施行期間：令和3（2021）年4月－令和13（2030）年3月

令和2年2月25日

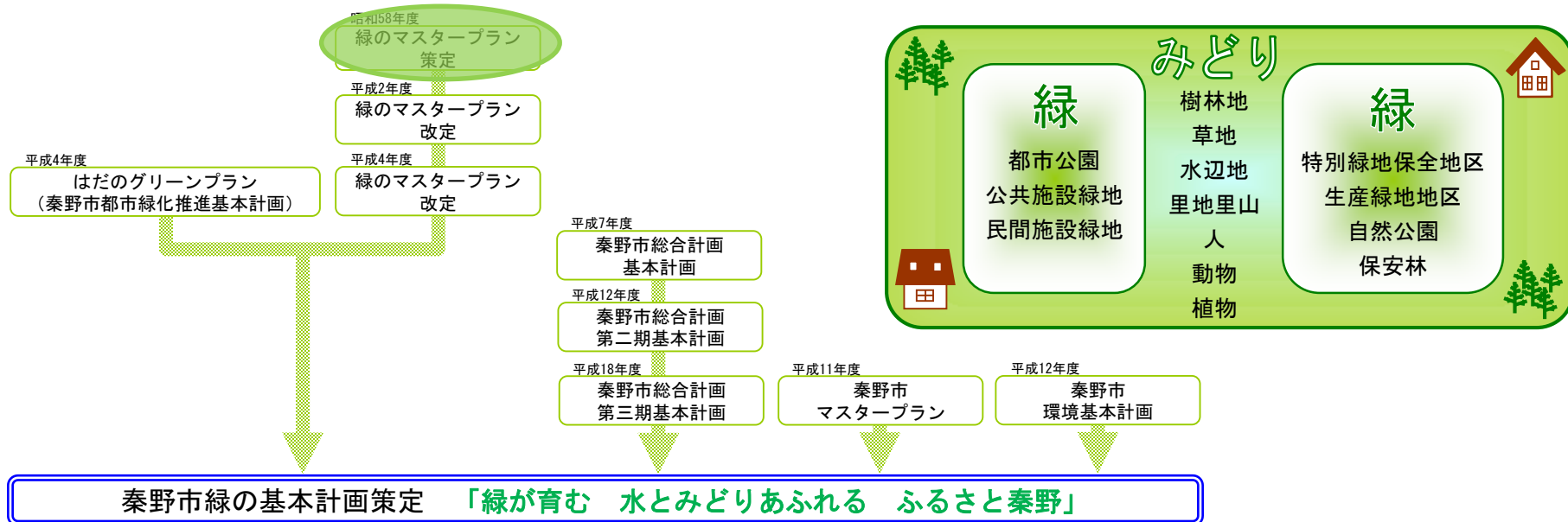
秦野市環境産業部環境共生課

第1回会議のまとめ（主要なもの）及び報告

1. 計画の目的

➤ 所期計画（平成20年3月）

市街地の拡大や産業の集積による都市化の進展に対して、身近にふれることのできる「緑」の減少を抑制し、本市が目指す都市像である「みどり豊かな暮らしよい都市(まち)」の実現に向け、具体的に都市の緑や緑地の保全・再生・創出を行い、みどり豊かなまちづくりを総合的かつ効果的な施策の展開により推進していくために策定。



➤ 次期計画（令和3年3月施行）

所期計画の年次改定を行うとともに、新たに生物多様性の確保に関する視点（生物多様性国家[地域]戦略に基づく）を追加し、これまでの「秦野市生物多様性地域連携保全活動計画（地域連携保全活動計画に基づく）」との協調が図られるよう改定。

2. 事務スケジュール

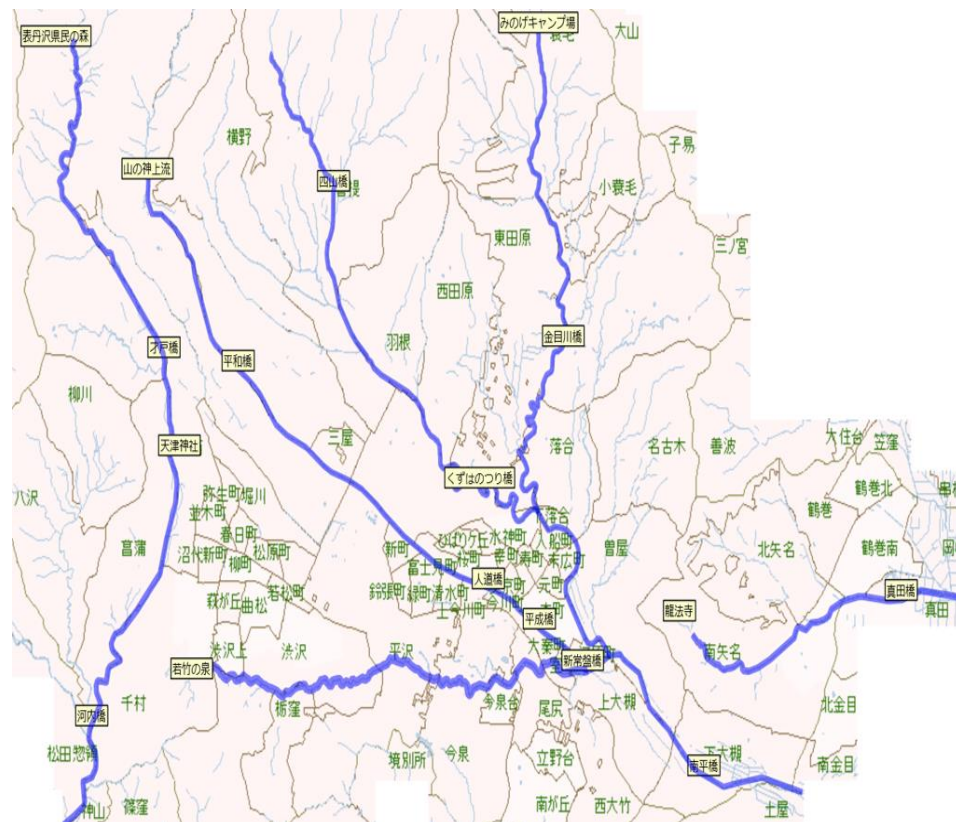
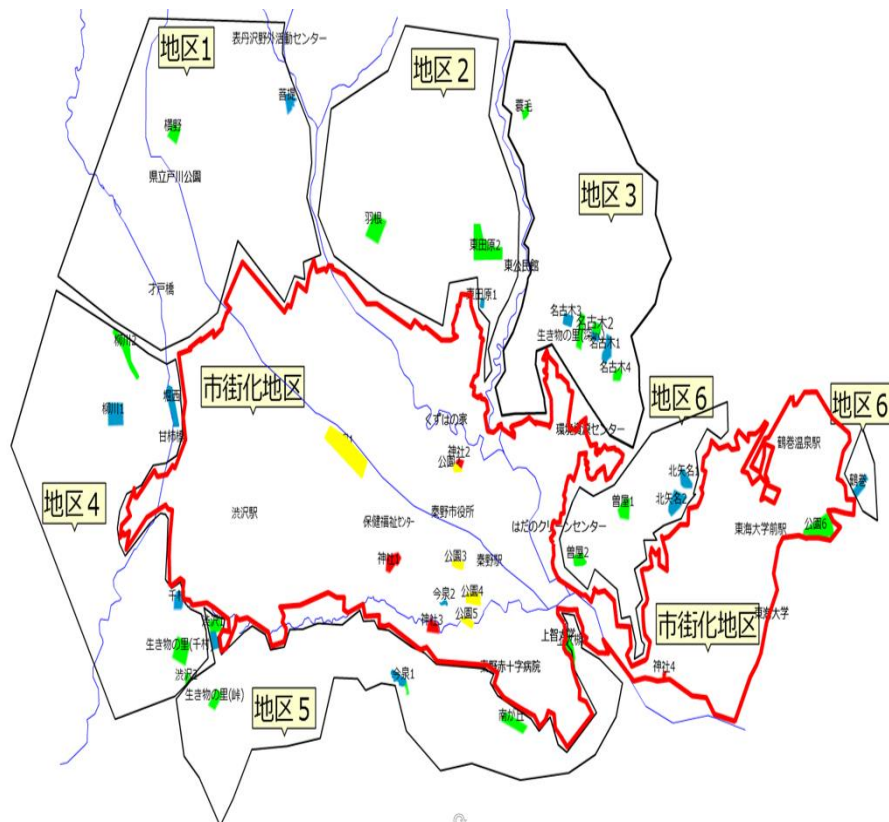
	令和元年度		令和2年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境審議会	■ 報告							■ 報告						★
環境共生課 (生き物調査)	●	●	●	●	●	●								
庁議等・各 課照会	●								●				庁	
有識者への 照会									●	●				
県との調整											●			
市民意見													P	

■…通常会議 / ★…通常会議（諮問・答申） / P…パブリック / 庁…部長会議・議員連絡会

3. 生き物調査（令和元年度調査分）

➤ 調査場所について

市内を6地区【28箇所（水田14、雑木林14）】と市街化地区【10箇所（公園6、神社4）】及び河川【大根川、金目川、葛葉川、四十八瀬川、水無川、室川】で調査を実施し、指標生物の有無を確認。



3. 生き物調査（令和元年度調査分）

➤ 指標生物について

平成26年3月に作成した「秦野市生物多様性地域連携保全活動計画」でも活用された指標生物を参考とし、水田、雑木林の動植物ごとにそれぞれ30種を選定。河川の指標生物は、相模川及び酒匂川水系で5年毎に実施されている「神奈川県民参加型調査」の動植物を参考に67種を選定。

№	水田		雑木林		№	名称(河川)	№	名称(河川)	№	名称(河川)
	名称(植物)	名称(動物)	名称(植物)	名称(動物)						
1	オモダカ	ヤマアカガエル	カンアオイ類	アオスジアゲハ	1	ナミウスムシ	30	ヨシノボリの仲間	外来種	オオカナダモ
2	ヘラオモダカ	ニホンアカガエル	ヒトリシズカ	モンキアゲハ	2	カワニナ	31	ツマヨシノボリ		コカナダモ
3	ミスオオバコ	トウキョウダルマガエル	フタリシズカ	ジャコウアゲハ	3	サワガニ	32	エビモ		ハリエンジュ
4	ヒガンバナ	シュレーゲルアオガエル	ウラシマソウ	オオムラサキ	4	ヒラタカゲロウの仲間	33	ササハモ		シナダレスズメガヤ
5	コガマ	ツチガエル	ホウチャクソウ	キマラダヒカゲ類	5	モンカゲロウの仲間	34	ホザキノフサモ		アレチウリ
6	コナギ	ニホンイモリ	ホトトギス	クロコノマチョウ	6	カワゲラの仲間	35	ススキ		オオフサモ
7	タガラシ	ドジョウ	ヤマユリ	ハラビロカマキリ	7	コオニヤンマ	36	オギ		アメリカザリガニ
8	ケキツネノボタン	ホトケドジョウ	キンラン	フキバッタ類	8	オニヤンマ	37	ヨシ		ウシガエル
9	ワレモコウ	タイコウチ	ギンラン	ハヤシノウマオイ	9	ムカシトンボ	38	ツルヨシ		オオカワチシャ
10	アカバナ	ミズカマキリ	エビネ	クツムシ	10	ヘビトンボの仲間	39	クサヨシ		ミシシッピアカミミガメ
11	チョウシタチ	ヒメアメンボ	シュンラン	エゾツユムシ	11	シマトビケラの仲間	40	マコモ		
12	ミゾソバ類	シマアメンボ	オオバギボウシ	トゲナナフシ	12	ヒゲ坊坊びの仲間	41	ヤナギ類		
13	サクラタチ類	オニヤンマ	ヤブラン	ニホントビナナフシ	13	ナガレトビケラの仲間	42	オオイヌタデ		
14	ミミナグサ	ハグロトンボ	ニリンソウ	アブラゼミ	14	カクツツトビケラの仲間	43	ミゾソバ		
15	ノミノフスマ	シオカラトンボ	タチツボスミレ	ミンミンゼミ	15	アミカの仲間	44	フサザクラ		
16	ツリフネソウ	ゲンジボタル	ヤブコウジ	ヒグラシ	16	ゲンジボタル	45	ヒメレンゲ		
17	ムラサキサギゴケ	ヘイケボタル	ウメガサソウ	ハンミョウ	17	イシビル	46	タコノアシ		
18	ミゾホオズキ	ガムシ	イチヤクソウ	オオヒラタシデムシ	18	ミズムシ	47	カワラハハコ		
19	ツリガネニンジン	シマゲンゴロウ	リンドウ	カブトムシ	19	テナガエビ・スジエビの仲間	48	カワラヨモギ		
20	ミゾカクシ	サワガニ	ヤマルリソウ	クロカナブン	20	ヌマエビの仲間	49	カワラケツメイ		
21	ノアザミ	マルタニシ	アキノタムラソウ	ヤマトタムシ	21	アブラハヤ	50	セリ		
22	コオニタビラコ	カワニナ	キッコウハグマ	スズメバチ類	22	ウグイ	51	カワセミ		
23	カントウヨメナ	サギ類	オケラ	カウ類	23	カマツカ	52	カワガラス		
24	タウコギ	シギ・チドリ類	ヤブレガサ	コゲラ類	24	シマドジョウ	53	カワウ		
25	セリ	カヤネズミ	シラヤマギク	蜘蛛・アゲハの痕跡	25	ヤマメ・アマゴ	54	サギ類		
外来種・ 要注意	セリバヒエンソウ	ウシガエル	ナガミヒナゲシ	アカボシゴマダラ	26	カマキリ	55	キセキレイ		
	オオフサモ	カダヤシ	セリバヒエンソウ	アオマツムシ	27	カジカ	56	カジカガエル		
	アレチヌスビトハギ	アメリカザリガニ	アレチヌスビトハギ	クマゼミ	28	ボウスハゼ	57	タゴガエル		
	オランダガラシ	サカマキガイ	マルバフジバカマ	ムネアカハラビロカマキリ	29	ウキゴリ				
	オオキンケイギク	スクミリンゴガイ	オオキンケイギク	ガビチョウ、ヤマビル						

3. 生き物調査（令和元年度調査分）

➤ 今回調査において確認された指標生物（主なもの）

